

課題発掘が起点になる

～マーケティングとクリエイティブの関係～



株式会社アド電通大阪
第2アカウントプロデュース局
アカウントプロデュース3部長
俣野義則氏

広告会社にて「制作部門」「デジタル広告部門」「営業・管理部門」と幅広い部門に所属。お客さまの課題を共有し、その解決策の提案から実施する業務を推進。

業務を通じて、情報を最大効果で発信し理解・浸透を得るためには「自らが置かれている現状を的確に把握し、有効なアウトプット策を実施することが最も重要であることを何度も経験する。

一般企業での実際の事例を共有し、そこから「情報を発信する教育機関」を考えた場合どのような方策が有効なのかを一緒に考えられればと思っています。

profile

1968年京都市生まれ。大阪工業大学 工学部 経営工学科卒。
株式会社デルフィスを経て、現職に就く。
2010年より、京都嵯峨美術大学にて非常勤講師を務める。

コロナ禍と私学教育

～教育活動へのコロナ禍の影響と、次年度の志願動向について～



開成教育グループ
入試情報室室長
藤山正彦

昨年未だから広がり始めた新型コロナウイルス(covid19)感染症の流行で政府による2月27日の全国一斉休校要請から始まり、全国の学校では長期間の休校を余儀なくされました。公立学校は教育機会の均等が担保できないなどで休校期間中の教育活動が止まってしまったところが多い中、私立学校は情報端末の配備など各学校の状況に合わせて、オンラインでの授業提供や毎朝のホームルームの開催、電話での家庭連絡や課題送付と回収・添削など、出来ることを模索しつつ教育サービスを止めなかったところが多かったようです。今回は首都圏の私立学校の様子も含めて全体状況を紹介するとともに、次年度入試の受験生の動向についても最新の情報をお伝えできればと考えております。

profile

1963年愛媛県生まれ。私立愛光中学・高校、立命館大学経営学部、京都大学農学研究科を経て、大阪大学人間科学研究科修了。京都大学在学中より学習塾に勤務し、約30年間私塾教育に従事している。

日 時：10月2日(金) 午後3:00～5:00(予定)
講 演：株式会社アド電通大阪
第2アカウントプロデュース局 アカウントプロデュース3部長 俣野義則氏
『課題発掘が起点になる
～マーケティングとクリエイティブの関係～』

開成教育グループ 入試情報室室長 藤山正彦
『コロナ禍と私学教育
～教育活動へのコロナ禍の影響と、次年度の志願動向について～』



会 費：無 料

参加方法：オンラインアプリZoomにてご参加ください

※9月30日(水)までにお申し込みいただいたメールアドレスへご案内させていただきます
※本年はコロナ禍の影響のため、オンラインでの実施とさせていただきます

申し込み方法：QRコードもしくはURL (<https://ux.nu/jauNO>)よりお申し込みください
※締切9月26日(土)

お問い合わせ先：株式会社アプリス 営業部 宮崎
Tel:06-6373-1552 / Fax:06-6136-3131 Mail:ap-contact@aplis-net.co.jp

お申し込みはこちら

